

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
第15回(2019年)みはら区民まつり			みはら区民まつり実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	R1	
美原区域の住民・団体の協働による事業を通じて、区域住民の自主的なまちづくり事業への参加意識を高めるとともに、相互の交流と親睦を深め、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	区域住民自らが企画・運営に参加することにより、区域の一層の連帯と交流を深め、明るく、住みよい、活気と愛着あるまちづくりを推進するとともに、住民が主体的に行うまちづくりのための人材育成が期待できる。	来場者数(人)	—	12,000	10,000	
		主催者側(模擬店・ステージ・サポートスタッフ等)の参加人数(人)	—	1,481	1,287	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ 本事業は、区民と行政の協働により実施されており、区域住民の自主的なまちづくり事業への参加意識や連帯感の醸成を図ることを目的としている。	◎ 校区の自治連合会と区役所により構成される実行委員会により、区民と協働で企画・運営している。財源についても、市負担金のほか、校区自治連合会の負担金、区内の企業等からの協賛金、賞品提供などの事業協力を得ており、美原区が一体となる事業である。	◎ 各校区自治連合会や、区内で活動する団体が趣向を凝らしたステージプログラムや模擬店を展開している。今回は会場変更に伴う来場者の分散を目的に、別館周辺に「子どもエリア」を新設し、大道芸人によるショーやミニ消防車乗車コーナー等を設け、併せてクイズスタンプラリーを実施した。	○	事業実施に伴う支出については、その目的、必要性及び効果を実行委員会で諮り、予算を効率的に執行している。また、模擬店を統括する部会をはじめ、3つの部門の部会を通じて、円滑に意思決定がなされているため、それに伴う事務調整も効率的に遂行できている。		
⑤自立発展性	総合評価					
— 本事業は、行政と連携することで、各種関係団体との連絡調整など、円滑な運営を行っているが、区民の自主的な活動が求められるものは、積極的にその促進を図っている。	◎ 実行委員会を中心に、模擬店、ステージ及びサポートの各部会が連携し、企画・運営を行い、区民との協働事業が効果的に実施されている。今年度は会場変更に伴い敷地面積が大幅に縮小したため、来場者の安全な動線確保や模擬店参加者の円滑な搬入・搬出作業が懸念されたが、特段その点で問題は生じることなく、従来通り開催することができた。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">                     拡充 継続 見直し 廃止                 </div>	各校区自治連合会のみならず、区内の活動団体も数多く参加しており、美原区の一大会事として区民から実施を期待されるイベントとなっている。次年度については、会場変更により生じた諸課題を改善し、より満足度の高い事業実施を行う。また、人件費の高騰を受け、警備を中心とした委託料が増加傾向にあるため、スタッフの配置や業務内容を見直し、効率的かつ効果的な運営をめざす。					